

情報公開文書

屍体解剖による腹部正中皮下血管の構造と腹部瘢痕の影響に関する研究

1. 倫理審査と許可

この研究は、研究対象者の方の人権が保護されているか、また安全性および科学性に問題がないかについて慎重に審査され、京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。

2. 研究機関の名称・研究責任者の氏名

研究機関 : 京都大学医学部附属病院
研究責任者 : 京都大学医学部附属病院 形成外科 講師 津下 到
個人情報管理責任者 : 京都大学医学部附属病院 形成外科 講師 津下 到

3. 研究の目的と意義

形成外科では、乳癌の摘出による乳房の変形の治療として、腹部から皮膚、皮下脂肪を含めた組織の移植手術を行っています。その際、移植組織への血流を確保する必要があり、腹部皮下から腹直筋内の血管を利用します。一方、腹部皮下血管の解剖学的な特徴はまだ解明されていない部分があり、特に開腹手術などによる傷が周囲の血管に与える影響を調べることは、手術方法の工夫につながる可能性があり重要です。

4. 研究実施期間

研究機関の長の実施許可日より 2026年3月31日までを研究期間としています。

5. 対象となる情報の取得期間

京都大学医学部 Clinical Anatomy Laboratory (CAL) プログラム (倫理委員会承認番号: R1785、献体を用いた医師・医療従事者の教育・研究プログラム) に基づいて提供いただいたご献体を用いて、乳房再建を想定した腹部皮弁の挙上を行い、腹部の血管走行を造影 CT で評価します。

6. 情報の利用目的・利用方法

得られた情報は、腹部皮弁による乳房再建の知識や手術手技の向上を目的とした研究資料として使用します。プライバシーに十分配慮した上で、専門学会や学術雑誌に発表する場合があります。

7. 利用する情報の項目

腹部瘢痕、手術歴の有無、穿通枝血管の位置、深下腹壁動脈・静脈、浅下腹壁動脈・静脈の位置、

CT 撮像により、造影される血管の臍からの水平・垂直の位置関係、皮下血管の走行する深さ、腹部皮下脂肪や腹直筋の厚みについて計測します。

8. 利用を開始する予定日

研究機関の長の実施許可日より。

9. プライバシーの保護について

得られた情報は、プログラムの成果として専門の学会や学術雑誌に発表されることもありますが、研究対象者の方のプライバシーは十分に配慮し、個人に関する情報（氏名など）が外部に公表されることは一切ありません。また、写真等の情報を用いる場合も、個人が特定されないことがないよう慎重に配慮いたします。

10. 研究終了後の結果の取り扱いについて

得られたデータは、プログラム参加者にて保管されますが、個人情報漏えい等が起こらないように細心の注意を払います。

11. 資料の入手・閲覧、提供の停止について

他の研究対象者の個人情報保護や研究の独創性の確保に支障のない範囲内で、この研究に関する資料を入手・閲覧することができます。また、研究対象者またはその代理人の方の希望に応じて、得られた情報の利用や提供を停止することも可能です。ご希望がありましたら、研究責任者にご連絡下さい。

12. 連絡先とお問い合わせ先

何か分からないことや心配なことがありましたら、下記の研究責任者か相談窓口にご連絡下さい。

1) 研究課題への相談窓口

■京都大学医学部附属病院 形成外科 研究責任者 津下 到

TEL : 075-751-3613 FAX : 075-751-4340

2) 京都大学の苦情等の相談窓口

■京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

TEL : 075-751-4748 E-mail : ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

13. 研究資金・利益相反

運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。